



平成 26 年 4 月 25 日

各 位

上場会社名 株式会社クイック
代表者 代表取締役社長 和納 勉
(コード番号：4318 東証第二部)
問合せ先責任者 取締役執行役員管理本部長兼経理部長
平田 安彦
(TEL：06-6366-0919)

通期業績予想との差異および剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成25年4月25日付「平成25年3月期 決算短信」にて公表いたしました、平成26年3月期通期業績予想数値と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり、平成26年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績の差異について

(1) 差異の内容

平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績との差異 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,500	百万円 820	百万円 840	百万円 537	円 銭 28.61
今回実績 (B)	10,202	1,033	1,078	665	35.45
増減額 (B-A)	702	213	238	128	—
増減率 (%)	7.4	26.1	28.3	23.9	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月期)	8,708	658	763	473	25.33

(2) 差異の理由

平成 26 年 3 月期の国内景気につきましては、円安・株高の進行に加え、消費税引き上げ前の駆け込み需要により、個人消費等が堅調に推移し、企業業績の回復が続きました。これに伴い、企業等の採用ニーズも増加傾向となり、完全失業率、有効求人倍率がともに改善する等、雇用情勢は明るさを増してきました。

このような事業環境のもと、リクルーティング事業における採用広告の取り扱いが予想以上に好調だったことに加え、人材サービス事業の業績も予想以上に順調に推移したことから、平成 26 年 3 月期の通期売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が、それぞれ前回予想を上回りました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成 26 年 2 月 20 日公表)	前期実績
基準日	平成 26 年 3 月 31 日	同左	平成 25 年 3 月 31 日
1 株当たり 配当金	8 円 00 銭 (普通配当 6 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)	6 円 00 銭 (普通配当 4 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)	4 円 00 銭
配当金の総額	150 百万円	—	74 百万円
効力発生日	平成 26 年 6 月 23 日	—	平成 25 年 6 月 24 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題として位置付けており、財務体質の強化や今後の事業展開等を考慮した上で、連結当期純利益の 30%を配当性向の目処とすることを基本方針としております。

上記方針に基づき、平成 26 年 3 月期の 1 株当たり期末配当につきましては、直近予想の 6 円（普通配当 4 円、記念配当 2 円）から 2 円増額し、8 円（普通配当 6 円、記念配当 2 円）に修正させていただくこととしました。

この結果、平成 26 年 3 月期の 1 株当たり年間配当は、第 2 四半期末の配当実績と合算して、1 株当たり 13 円（普通配当 11 円、記念配当 2 円）となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
当期実績 (平成 26 年 3 月期)	5 円 00 銭	8 円 00 銭 (普通配当 6 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)	13 円 00 銭 (普通配当 11 円 00 銭) (記念配当 2 円 00 銭)
前期実績 (平成 25 年 3 月期)	4 円 00 銭	4 円 00 銭	8 円 00 銭

以上